

大会報告

## 第 65 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会を終えて

会期：令和 6 年 7 月 12 日（金）～14 日（日）

場所：共済ホール

第 65 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会

大会長 越智守生

第 65 回日本歯科医療管理学会学術大会を、メインテーマ「歯科医療管理学を北海道で究める そして極める」として、2024 年 7 月 13 日・14 日札幌市共済ホールにて、日本デジタル歯科学会との共催として開催いたしました。数多くの会員の先生方のご出席、ご協力のもと無事成功裏に終了することができました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

1 日目は、まず厚生労働省保険局保険課保険課長（現・こども家庭庁支援局総務課総務課長自殺対策室長）の山下 護先生より「オンライン資格確認等システムが実現する新しい医療」としてご講演をいただきました。また、永山正人先生より「歯科医療管理学会に期待することー過去、現在、未来の視点からー」としてご講演いただき本学会元会長としてこれからの本学会の方向性をお示しいただきました。本田和枝先生より「地域課題への挑戦～北海道の歯科保健医療を支える連携づくり～」と題してご講演をいただきました。シンポジウムでは「口腔の健康とウェルビーイングを促進する教育と実践」として、村松真澄先生、竹川正範先生、三谷篤史先生よりご講演いただき活発な意見討論と行きたいところでしたが、白熱したご講演のためディスカッションのお時間をお取りすることが難しくなってしまうほどでした。プログラム終了後、ニューオータニイン札幌にて会員懇親会を開催いたしました。当初の想定を上回る多くの先生方にご来場いただき、非常に盛会となりました。その後、おのおの札幌の夜の街へ繰り出されたものと思います。

2 日目は、枝広あや子先生より「認知症の人の歯科口腔管理の課題」として、また、日本デジタル歯科学会共催講演として井田有亮先生より「歯科医療管理を究めるための DX 戦略」としてご講演いただきました。認定研

修会としては、上條英之先生より「歯科医療報酬制度等の改革等に伴う歯科医療機関等のこれからの役割等を考える」と題してご講演いただきました。

上記講演および最終的に一般口演 11 題、ポスター発表 12 題、そして数多くの企業展示をいただき、非常に豊富な学びの場を提供することができたのではないかと考えております。今回は、講師の先生含め北海道にゆかりのある方々をお招きし、北海道歯科医療管理学会会員より実行委員会を組織させていただきました。少数での運営につきご参加の先生方にはご不便やご心配をおかけした点が多くあったかと存じますが、大会期間は晴天にも恵まれ存分に初夏の北海道を満喫していただけたものと思います。

末尾にはなりますが、本学術大会盛会に終了することができたのは、ご参加、ご協力いただきました先生方のご尽力の賜物でございます。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

